


クラス	C101	担当教員	う えだ かずひろ 上田 和宏
	テーマ	説明力の習得（データに基づいた考え方を身につける）	
	著書・論文	最近は個人の時間使用データから生活時間の推計などを行っている。 “Time use of married couples: Bayesian approach,” <i>Journal of Applied Statistics</i> , 2019. (共著)	
	研究課題等	“Analysis of job satisfaction: The case of Japanese private companies,” <i>Labour</i> , 2016. (共著)	

## ゼミナール概要

キーワード： データ、統計学、表計算、説明力

目的、内容、方法等：

ゼミの目的は、「データを使って考えたり説明したりすることができる力をつけること」である。  
 私たちは、「当社の製品は、××の成分が他社の製品に比べて○パーセント多く入っている。」、「グラフから家族一人あたりのスマートフォンの利用料金が増えていることがわかる。」・・・など、数字やグラフ・表を使った説明にしばしば接する。  
 変化を説明するとき、単に増えたとか減ったとかと言うより、どれくらい、また、どの程度、増えたか減ったかを具体的に数値で示す方が、説得力が増すだろう。自分が伝えたいことを他人にわかってもらうには、このようにデータやグラフなどを使って具体的に説明することが有効である。  
 データを使って説明する力は社会に出て必ず必要になる。数値を扱うと言うだけで敬遠する人もいるが、ハードルはそれほど高くない。食わず嫌いということもよくある。  
 ゼミでは統計データを加工して必要な情報を取り出す方法やわかりやすく示す方法などについて学ぶ。そして実際にいろいろな統計データを利用して説明する練習を行う。

### 【2年生】

- ・統計データを扱うための統計学の基礎知識を学ぶ／EXCEL など表計算ソフトを使うことに慣れる
- ・学んだ知識を経済や社会の問題に応用して、レポートを書いたりプレゼンを行ったりする。

1年生で学んだ「経済・経営のための数学」程度の数学や「情報処理演習」で学んだ EXCEL の使い方程度がわかっていればよい。平均やそのほかのデータの特徴を示す指標の計算には EXCEL を使う。統計学には数学を使わない内容もある。たとえば、統計データの種類によって整理の仕方やそれを表すのに適したグラフに違いがある。こうしたことについても学び、実際に使える力をつけるようにする。

### 【3年生】

- ・自分たちで決めたテーマについて研究して(小)論文を書く。

就職活動で大学時代に何に打ち込んだかと問われたとき、勉強面では「これ」と言えるものをつくる。

### 【4年生】

- ・大学での「学習の成果を形として残す」ため、卒業論文を作成する。

以下の点にも留意してほしい。

- ・2年生、3年生ではグループで作業を行うので、グループワークへの積極的な参加を求める。
- ・ゼミでフィールドワークを行うことはないと思うが、他の授業などで行われているフィールドワークには積極的に参加するとよいと思う。
- ・ゼミ合宿や工場見学、レクリエーションなどは、希望があれば実施を考える。自ら積極的に動き、人と交わる意欲を発揮してほしい。

使用テキスト	担当教員からのメッセージ
高橋麻奈、『統計学』 技術出版社、2015年	<p><b>ゼミの応募は、上の「ゼミナール概要」を読んでいることと事前の説明会に参加していることを条件とします。</b></p> <p>(おまけ) 次の項目のいくつか該当するような人を歓迎します。</p> <p>デパ地下の行列に並ぶ／食べることが好き／国内外を旅行したい／本に使うお金をもったいないと思わない／小説や漫画を読む／人前で話す自信をつけたい／勉強したい／意欲はある／体力はある／まじめ</p>

